

地熱・地中熱等導入拡大技術開発事業

令和6年度概算要求額 **20億円（24億円）**

(1)、(2)①、(3)①、(4)、(5)

資源エネルギー庁資源・燃料部政策課

(2)②、(3)②、(6)

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部新エネルギー課

事業の内容

事業目的

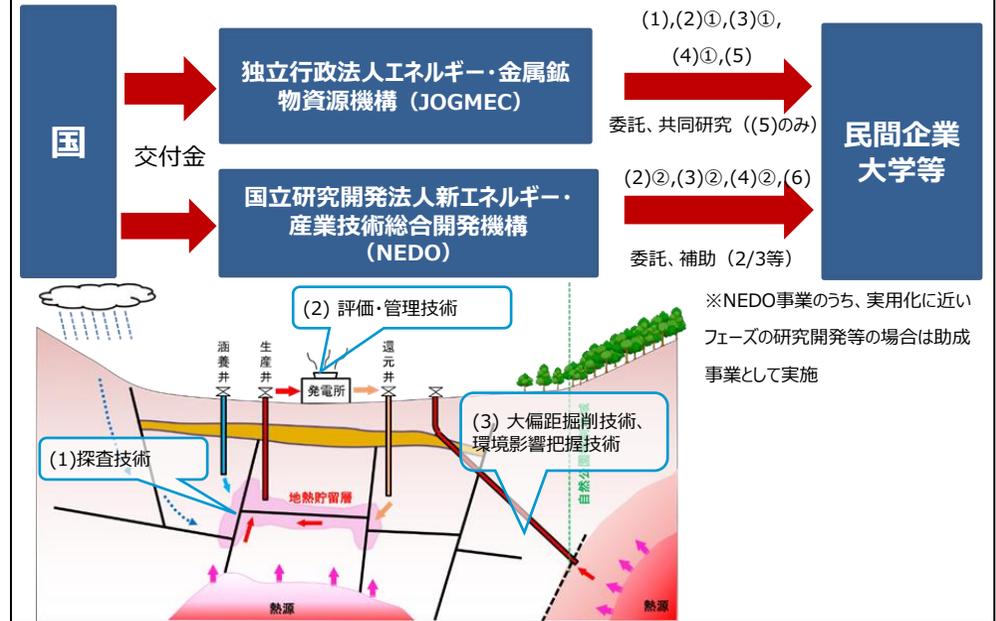
地熱発電は、自然条件によらず安定的な発電が可能なベースロード電源。我が国は世界第3位の地熱資源量を有しているが、他の再エネに比べて開発リスク・コストが高いといった課題があることから、導入が進んでおらず、現在は総発電量の1%にも満たない状況。安定的なエネルギー資源を獲得するため、技術開発によって、地熱資源の探査コスト・発電所の設備利用率の低下等の課題を解決することを目的とする。また、再生可能エネルギー熱は、カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー需給構造の効率化のために重要であるが導入コスト等に課題があるため、技術開発によりこの課題を解決することを目的とする。

事業概要

本事業ではこれらの課題を技術開発により解決するべく、下記の事業を実施・支援する。

- (1) 探査技術の高度化
- (2) 出力低下の①回復（透水性改善）、②未然防止（高度利用化技術）
- (3) 国立・国定公園への①斜め掘り、②環境影響把握
- (4) ①地熱発電の抜本的拡大に向けた革新技术（CO₂地熱発電技術）の検証、②超臨界地熱発電
- (5) 地熱開発現場の技術ニーズ解決に資する新技術開発・実証等
- (6) 再エネ熱の面的利用システムの技術開発

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

(1) は令和3年度から7年間、(2) ①は平成25年度から13年間、(2) ②は令和3年度から5年間の事業で探査精度10%向上や設備利用率20%向上を目指す。(3) は令和3年度から5年間の事業で大偏距掘削2km達成、(4) は令和7年度までの事業で実現に向けた課題抽出等を行う。(5) は開発・実証を行う技術等のうち、50%が事業終了後3年以内で現場活用されることを目指す。(6) は、令和6年度から5年間の事業で、初期導入費及び維持管理費の20%低減を目指す。